



## 「原子力災害」について学習会を開催します

原子力災害が発生した場合、発電所から30km圏外の地域は、30km圏内の方の避難経路や避難の受け入れ先になる場合があります。

また、風向きによっては、発電所から放出された放射性物質の影響を受ける可能性もあります。放射線について知り、避難する立場、避難者を受け入れる立場になった場合の心構えについて考えてみましょう。

【日時】10月28日（土）10：00～11：30

【場所】ビーチホールまがたま 2階研修室

【議題】原子力災害について知ろう



## 「はじめよう寺町」学習会開催報告

8月30日（土）ビーチホール「まがたま」2階 研修室で災害時の衛生害虫対策について、学習会を開催しましたので、内容を抜粋して報告いたします。

### ハエ、ダニ、ゴキブリ、蚊などの害虫被害

- ・ハエは食べ物にたかるだけではなく、大腸菌、黄色ブドウ球菌、サルモネラ菌、赤痢菌、腸炎菌などの病原菌を媒介します。
- ・アレルギー疾患の80%以上がダニによるものです。  
ツメダニは人を刺し、イエダニはネズミに寄生し感染症を媒介します。  
寄生しているネズミが死ぬと寄生先を求めて人を吸血することがあり、これが原因で皮膚炎を発症します。
- ・ゴキブリはサルモネラ菌、赤痢菌、小児麻痺ウィルスなどの病原菌を媒介します。  
糞（フン）、死骸などがアレルギーになります。
- ・蚊が媒介する感染症として日本脳炎と、デング熱が知られています。



### ハエ、ダニ、ゴキブリ、蚊などの害虫対策

- ・生活区域やトイレ、ごみ集積所へのネズミ・ハエ・ゴキブリなどの侵入の有無を確認します。
- ・避難者全員で定期的に清掃と整頓を行い、食事の残りや菓子類を衛生的に管理します。
- ・ごみ集積所はなるべく閉鎖できる場所に設置し、ごみの排出方法を避難者へポスターや放送で知らせます。
- ・避難所で炊き出しを行う場合、ハエが食品にとまらないように、工夫をします